八月（大）葉月（はづき）氏宿

（八月七日立秋の節より
月命丙申八白土星の月
暗剣殺東北方）

旧六月小
七月大

○望＝望月のことで、満月を指す

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	日	かのと み	一白	八朔、水の日、大宮氷川神社例祭、諏訪お舟祭、桑名石取祭 身代り不動尊火難除・病難除・がん封 旧六月小	廿三	仏滅	ひらく	房	天おん	4.49 18.45	23.28 12.38	10.31 22.05	4.36 15.44
2日	月	みづのえうま	九紫	八戸三社祭、青森ねぶた祭（7日迄）、鬼貫忌、三隣亡、一粒万倍日	廿四	大安	とづ	心	●	4.50 18.45	— 13.35	12.25 22.51	5.56 17.03
3日	火	みづのとひつじ	八白	秋田竿燈（6日迄）、多賀大社萬燈祭	廿五	赤口	たつ	尾	天おん	4.50 18.44	0.00 14.33	15.06 23.59	7.09 19.07
4日	水	きのえ さる	七赤	京都北野天満宮例祭、久留米祭、十方ぐれ入り	廿六	先勝	のぞく	箕	神よし	4.51 18.43	0.37 15.31	— 15.55	8.08 20.31
5日	木	きのと とり	六白	山形花笠祭（7日迄）、一粒万倍日	廿七	友引	みつ	斗	神よし	4.52 18.42	1.20 16.26	1.34 16.27	8.57 21.29
6日	金	ひのえ いぬ	五黄	広島平和記念日、仙台七夕（8日迄）、新潟祭（8日迄）、東京佃祭（9日迄）	廿八	先負	たいら	牛	五む日	4.53 18.41	2.09 17.18	2.44 16.54	9.42 22.13
7日	土	ひのと み	四緑	**立秋** 一五時五四分、鼻の日、三隣亡	廿九	仏滅	たいら	女	大みゃう	4.53 18.40	3.05 18.05	3.32 17.21	10.23 22.51
8日	日	つちのえ ね	三碧	●**朔** 二二時五〇分、一粒万倍日、関忌宮数方庭祭（7日～13日）、御下嶽山雲上大御神火祭 旧七月大	朔	先勝	さだん	虚		4.54 18.39	4.05 18.46	4.12 17.49	11.03 23.25
9日	月	つちのとうし	二黒	長崎原爆の日、宝塚中山寺夏会式、京都清水寺千日詣り（16日迄）	二	友引	とる	危	●	4.55 18.38	5.09 19.23	4.50 18.16	11.41 23.59
10日	火	かのえ とら	一白	館山安房神社祭、西鶴忌、末伏、不成就日	三	先負	やぶる	室	ぶく日	4.56 18.37	6.14 19.56	5.27 18.44	— 12.17
11日	水	かのと う	九紫	▣**山の日**、高知よさこい祭（9日～12日）	四	仏滅	あやぶ	壁	神よし	4.57 18.35	6.06 19.13	0.33 12.52	
12日	木	みづのえたつ	八白	徳島阿波踊り（15日迄）	五	大安	なる	奎	百事吉	4.57 18.34	8.25 20.56	1.08 13.26	
13日	金	みづのと み	七赤	月遅れ盆迎え火、天一天上	六	赤口	おさん	婁	大くわ	4.58 18.33	9.31 21.25	1.44 14.00	
14日	土	きのえ うま	六白	旧七夕、奈良春日大社万灯籠	七	先勝	ひらく	胃	神よし	4.59 18.32	10.38 21.57	2.24 14.35	

一年を通じて、一番暑さを感じるのはこの月である。寝苦しい夜が続き、寝不足になりがちで涼をとるため窓を開けて寝冷えをしたり、暑さのために疲労が蓄積したりし、とくに健康を損ないがちな月である。幼児、小児、高齢者の日射病、熱中症には注意が必要。

【婚】 この月に挙式をする人は少ない。それはさておき、わが国の結婚は普通仲人がいるものである。

仲人の由来と役割を簡単に説明しておこう。仲人とは結婚の媒酌人のことで、古くは、結婚の意向を伝える使者として「古事記」「日本書紀」の中にも出てくる。単なる使者から次第に重大な任務を帯びてくるのは、配偶者を求める地域がだんだん広範囲に及んで、仲介者の必要度がたかまった結果であろう。仲人親といって夫婦の仮り親視する言葉もあるくらいである。

仲人役を引き受けたら、

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	日	きのとひつじ	五黄	月遅れ盆、終戦記念日、全国戦没者追悼式	八	友引	とづ	昴	大みゃう	5.00 18.31	11.47 22.31	9.35 21.11	3.11 15.13
16日	月	ひのえ さる	四緑	◐**上弦**〇時二〇分、月遅れ盆送り火、京都・箱根大文字、松島灯籠流し、三嶋大社祭	九	先負	たつ	畢		5.00 18.30	12.57 23.12	11.06 21.49	4.15 16.05
17日	火	ひのと とり	三碧	滋賀建部夏祭	十	仏滅	のぞく	觜	十し	5.01 18.28	14.08 23.59	13.40 22.43	5.44 17.42
18日	水	つちのえいぬ	二黒	千葉だらだら祭（16日～22日）、伝教大師誕生会、不成就日	十一	大安	みつ	参	母倉	5.02 18.27	15.16 —	— 15.24	7.14 19.39
19日	木	つちのと ゐ	一白	秋田花輪ばやし、三隣亡	十二	赤口	たいら	井	ぢう日	5.03 18.26	16.19 0.55	0.16 16.11	8.27 21.01
20日	金	かのえ ね	九紫	鎌倉市鎌倉宮祭、一粒万倍日	十三	先勝	さだん	鬼	ぶく日	5.04 18.25	17.14 1.58	2.07 16.46	9.27 21.58
21日	土	かのと うし	八白		十四	友引	とる	柳	●	5.04 18.23	17.59 3.06	3.16 17.16	10.17 22.42
22日	日	みづのえとら	七赤	○**望**二一時〇二分、旧ぼん	十五	先負	やぶる	星	大みゃう	5.05 18.22	18.38 4.15	4.06 17.44	11.01 23.20
23日	月	みづのと う	六白	**処暑**六時三五分、一遍上人忌	十六	仏滅	あやぶ	張		5.06 18.21	19.11 5.23	4.48 18.10	11.40 23.55
24日	火	きのえ たつ	五黄	京都地蔵ぼん、秩父四萬部寺大施食会	十七	大安	なる	翼	大みゃう	5.07 18.20	19.40 6.28	5.26 18.34	— 12.13
25日	水	きのと み	四緑	東京亀戸天神祭	十八	赤口	おさん	軫	神よし	5.07 18.18	20.07 7.30	6.03 18.56	0.27 12.43
26日	木	ひのえ うま	三碧	富士吉田火祭、不成就日	十九	先勝	ひらく	角	神よし	5.08 18.17	20.33 8.30	6.39 19.16	0.59 13.10
27日	金	ひのとひつじ	二黒	愛知一色大提灯、神奈川大山阿夫利神社秋季大祭	廿	友引	とづ	亢	神よし	5.09 18.16	20.59 9.29	7.18 19.37	1.31 13.34
28日	土	つちのえさる	一白	天しゃ	廿一	先負	たつ	氐	よろづよし	5.10 18.14	21.27 10.27	8.00 19.59	2.05 13.57
29日	日	つちのとり	九紫		廿二	仏滅	のぞく	房	十し	5.11 18.13	21.58 11.25	8.49 20.22	2.42 14.18
30日	月	かのえ いぬ	八白	◑**下弦**一六時一三分	廿三	大安	みつ	心	百事吉	5.11 18.12	22.33 12.23	9.52 20.49	3.31 14.39
31日	火	かのと る	七赤	**二百十日**、旧地蔵ぼん、三隣亡	廿四	赤口	たいら	尾	大みゃう	5.12 18.10	23.13 13.20	11.34 21.24	4.43 14.56

婚前婚後を通じて、若い二人の介添人としての自覚と責任を持つべきである。

【葬】 七月に述べた「お盆」の行事は、月遅れの八月十五日に行うところや、旧暦七月十五日に行うところが意外と多い。

【祭】 七月に続いて各地で夏祭りが繰り広げられる。青森ねぶた祭り、東京富岡八幡宮の祭り、京都東山の大文字、徳島の阿波踊りなどが有名である。

この月の六日と九日は、広島、長崎の原爆記念の日である。灼熱の閃光が走ったと同時に市街地は焼け野原になり、数十万の人が命を落とし負傷した。人類として忘れられない日である。

広島・長崎を原点として推進されてきた原水爆禁止運動は、現在では核廃絶運動として世界各国にまで浸透した。

「山の日」は山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日である。（平成二十八年施行）

十五日は「終戦記念日」。二度と戦争の悲惨を繰り返さないよう、各自の胸に銘記しよう。

○望＝望月のことで、満月を指す

◑下弦＝下弦の月を指す